

忙しさにかまけてついつい一日延ばしを……。お正月以来の便りです。お許し下さい。まずは恒例の花便りです。



左側の花が行田の古代蓮。開花第1号です。右側が唐招提寺青蓮。奈良の唐招提寺に伝わる品種で、ちょっと気むずかし屋さん、独特の味わいがあります。

例年よりだいぶ早く蓮の季節になりました。蓮が元気だと言うことは暑いと言うことです。みなさんくれぐれも熱中症に注意してください。

さて、3月11日発生の東日本大震災、皆様には被害はありませんでしたか？発生以来既に4ヶ月、原発を含めて復興への足取りは極めて遅いと感じています。

去る6月18日、私は桐生仏教会の会員とともに南三陸町・岩沼市に赴き、100ヶ日忌法要を営ませて頂くことが出来ました。写真は宇多津の伊里前小学校の校庭でのご供養です。この直ぐ上に宇多津中学校があり、避難所が設けられています。沢山の被災された皆様にご参列頂きました。



志津川の防災庁舎でもご供養させて頂いたのですが津波災害の恐ろしさを改めて感じました。いまだに行方不明の方が7,000人もいらっしゃいます。ご家族の心中を思うと涙が止まりませんでした。僧侶も参列者も、皆泣きながらのご供養でした。

お砂踏みの第8番は、セーナ村(スジャータ村)です。

ネーランジャ河のほとりにあるセーナ村の娘スジャータから乳粥供養を受け、



衰えた体力を回復させたお釈迦様は、対岸のブッダガヤで最後の瞑想に入られます。2大供養ストウパの一つとして知られています。



スジャータについては、村の娘・若妻など3つの話が伝わっていますが、日本では村の娘とされています。『スジャータ』というのが何であるかは分からないかも知れませんが、コマーシャルでよくご存知の商品名だと思います。実は、このスジャータが商品名の元となっています。コーヒーを飲まれる方は、この名前を思い出して下さいね。